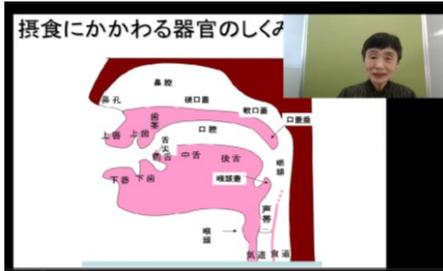
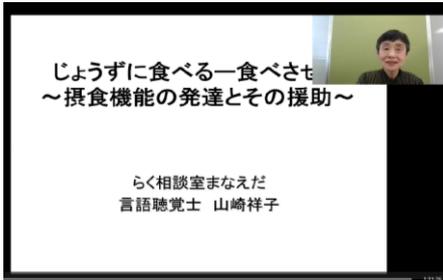


# 令和 4 年度 全体研修会 活動報告



高槻市給食研究会  
会長 山崎祥子

令和4年11月28日  
高槻市給食研究会  
会長 下村真介

「高槻災害給食ネットワーク」の開設について

【はじめに】  
昨今、様々な災害が頻度・規模ともに拡大してきておりますことは、裏にご存知のこと  
存じます。それに伴いその対策の拡充が急務となっており、特に当会で開設される施設は重  
層的にも難度高いレベルの対策を要されます。しかしながら、施設によっては単体では十  
分にその対策を行うことは困難な状況にあることも事実です。  
そこで、当会では自ら食事提供に関しまして、相互に協力しあうネットワークの構築を試み  
ることを決しました。  
具体的には、災害時に、ある施設では不足している物資が、近隣の別の施設では余裕があ  
る場合に、不足している施設にその物資を提供する等を行います。また、通所型や泊り型で  
はネットワークの必要量も異なります。物資だけでなく人材面での協力もその一つと考えま  
す。災害時はインフラが麻痺してしまうケースが多く、複数施設を有する規模の大きい法人  
で量的に十分に体制が確立されている、距離が離れている施設に対しては供給すること  
が困難になってしまふ可能性もあります。そのような状況下で近隣の施設であれば、前掲出  
向いで連携・相談することも可能となります。当会の会員施設が災害時に食料提供に必要  
なものも共通しているものも多く、施設の代表者・管理者・職員の方は様々な対応を強い  
られる局面で、重要な問題となる食事提供に関して担当者間で連絡を取り合い情報提供が出  
来るとすれば、施設全体としての負担を軽減し繋がるのではないのでしょうか。



研修名	給食施設栄養業務担当者研修会								
開催日時	R4年11月28日(月) 14:30 ~ 16:30								
場所	オンライン開催 (ZOOM形式)								
講演	らく相談室「まなえだ」 山崎祥子 氏 演題「じょうずに食べる 食べさせる 摂食機能の発達と援助」								
情報提供	『高槻災害給食ネットワーク』 の運用開始について								
参加人数	計77名 <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>病院部会</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>介護部会</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>児童・事業所部会</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>15名</td> </tr> </table>	病院部会	15名	介護部会	20名	児童・事業所部会	27名	その他	15名
病院部会	15名								
介護部会	20名								
児童・事業所部会	27名								
その他	15名								
内容	<p>(講演)                      新生児からの子どもの発育段階における摂食機能その援助に関するテーマでの講演。尚、病院関係・介護関係の現場でも活用できる内容にまとめご講義頂きました。また、事前に各会員からお寄せ頂いた質問にも別途動画にて丁寧にご回答頂きました。</p> <p>(情報提供)                      会員施設を5つのグループに分け、災害時の物資や人員の相互扶助協力体制の創設をスタートさせる旨のご案内を致しました。</p>								